

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	0372700641
法人名	有限会社 介護だいとう
事業所名	グループホーム にこにこだいとう
所在地	岩手県一関市大東町猿沢字板倉60番地1 (電話) 0191-71-4167

評価機関名	(財)岩手県長寿社会振興財団		
所在地	岩手県盛岡市本町通3丁目19-1 岩手県福祉総合相談センター内		
訪問調査日	平成19年12月5日	評価確定日	1月23日

## 【情報提供票より】(19年 10月 20日事業所記入)

### (1)組織概要

開設年月日	平成 15年 8月 27日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	7 人 常勤 7人, 非常勤 人, 常勤換算 7人

### (2)建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り
	2 階建ての 2 階 ~ 2 階部分

### (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	18,600 円	その他の経費(月額)	円
敷 金	有( 円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,000円

### (4)利用者の概要(10月 20日現在)

利用者人数	9 名	男性 2 名	女性 7 名
要介護1	4 名	要介護2	1 名
要介護3	3 名	要介護4	1 名
要介護5	— 名	要支援2	— 名
年齢	平均 82 歳	最低 80 歳	最高 85 歳

### (5)協力医療機関

協力医療機関名	岩手県立大東病院、岩手県立千厩病院、岩手県立磐井病院
---------	----------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. デイサービスを併設しているので協力・連携して運営されている。</li> <li>2. 手作りカレンダー(1ヶ月毎)を作成してみなさんへ配布している。</li> <li>3. 看護師がケアマネージャーを兼ねている。</li> <li>4. 運営推進会議の中のメンバーでもある婦人会と一緒に第三土曜日に資源ごみの回収作業をやっている。</li> <li>5. 消防自動通報装置を設置し火災に備えている。</li> </ol>
--

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目 ①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回は運営理念が掲示されていなかったが、本日掲示されているのを確認した。毎朝、唱和もされている。</li> <li>・理念は当所作成分とシルバーグループ作成分の2種類ある。</li> </ul>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員全員で自己評価を検討した。</p>
重点項目 ②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>ここ2~3年目覚ましく地域との交流が深まった。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族への連絡が密である。</li> <li>・苦情はほとんどないようだ。</li> </ul>
重点項目 ④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>とても良好である。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営理念を開所当時作成する際、管理者・職員で話し合って作成した。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関・エレベーター前・スタッフルームに運営理念が掲示されており、毎朝唱和して共有している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の「あんどん祭り」「文化祭」に参加している。</li> <li>・猿沢中学校からゲートポールセットをもらっている。</li> <li>・猿沢小学校からさつまいも等をもらっている。</li> <li>・保育園、婦人会の訪問も多い。</li> </ul>		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部評価で指摘された事項はすぐに改善するようにしている。</li> <li>・スタッフ7人で統一したケアを行うように心がけている。</li> </ul>		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2ヶ月に1度開催され、記録も作成・保管されている。</li> <li>・区長さん、婦人会長さんから活発な意見が出され、出来る限り、実現(ドライブ等)するようにしている。</li> </ul>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアプラン作成にあたり、審査会資料の交付を依頼したり、相談・連携に努めている。</li> <li>・「介護保険認定関係資料交付申請書」を確認した。</li> </ul>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康状態については電話で連絡するようにしている。</li> <li>・個人毎の「預り金収支帳簿」「にこにこだより」(2ヶ月に1度発送)を確認した。</li> </ul>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談(連絡)記録、カンファレンス記録を確認した。</li> <li>・「ご意見箱」あり。エレベーター内に運営適正化委員会のポスターがはってあるのを確認した。</li> </ul>		
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入れ替えはほとんどない。同一グループへ異動した人が1名あり。夜勤不可の人は1人いるが夜勤をやりたい人もいるのでバランスがとれている。</li> </ul>		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「研修記録簿」を確認した。</li> <li>・毎月の業務ミーティングがある。</li> <li>・「入居者様に対する禁句マニュアル」がある。(全員保有)</li> <li>・感染防止マニュアルを使用して研修している。</li> </ul>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩手県グループホーム連絡協議会(2ヶ月に1回アイーナにて)で研修を行っている。</li> <li>・県南ブロックでも不定期に行っている。</li> <li>・同一グループ内でもやっている。</li> </ul>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	「面談調査記録表」で確認した。(長男との相談内容を確認した。)		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は“先輩の知恵”で勉強させてもらっている。例えば、干し柿作り、大根おろしについて学んだ。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・各人毎の「面談(連絡)記録」を確認した。 ・「ケア業務ミーティング」で確認した。 ・一人一人の担当者を決めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	各人毎の「面談(連絡)記録」を確認したほか、「ケア業務ミーティング」で確認した。一人一人の担当者を決めている。入所前に大切にしていたことを再現できるように、ケアプラン作成前に本人、家族から意見を聞き、プランに活かすように努めている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	職員にケアマネと看護師の方がいるので、大きく変化があった際には、その都度職員でミーティングし、本人、家族に連絡し随時計画を変更し対応している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	・ショートステイは、まだ行っていない。 ・併設のデイサービスの機能訓練器具を兼用し、機能の向上維持をはかる場合もある。 ・理学療法士の指導のもと毎朝の体操をやっている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	4人は、かかりつけ医に診てもらっており、他のかたは、隣の診療所(内科と歯科)を利用している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居者の全員から「看取り介護に関する同意書」をいただいている。	○	現時点では看取った方はいない。今後はさらに深く、職員全員が適切にケアできるよう、対応方針について共有を図って欲しい。また、ご家族や主治医とも話し合いをさらに深めていくことに期待したい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	「入居者様に対する禁句マニュアル」を各人に配布し、徹底を図っている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ケアプラン等で希望を実現するようにしている。例えば、入浴の日時、順番の要望をできる限り、叶えるようにしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	昼食を一緒に食べて観察したところ、利用者も食事の準備、後片付けを積極的に行っていた。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の日時、順番については入居者の要望にできるだけ応えるようにしている。本日の入浴予定表とシーツ交換表を作って記入し、ダブらない様に順番に入れている。その日の体調などを観察して、朝、予定表に記入している。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	習字や裁縫、干し柿づくりを熱心にやっていた。買い物の帰りなども、楽しそうに和気あいあいと帰ってきた。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・「行事企画書と行事報告書」を確認した。(写真・パンフレット付) ・ドライブに行くことが多い。 ・納涼祭への地域住民の参加は非常に多い。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中の施錠はしていない。夜間は、19:00~20:00ごろ施錠し、5:30には開錠している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	「グループホーム日誌」を確認した。 (19. 11. 26(月)14:00~デイサービスと一緒に避難訓練をしていた。)	○	2F部分にグループホームがあるので、具体的な避難方法の検討を期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	シルバーメディカルフーズ(シルバーグループ)の管理栄養士に献立をFAXして、カロリー計算をしてもらっている。水分摂取量も毎日各人毎6回計測し、記録している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	広いリビングには広目の小上がりがあり、1コーナーには小さなソファもあり、カーテンで仕切って本棚と新聞置きを設けて、テレビの隣りには花も活け、トイレや風呂場も広々として、共用の空間は居心地が工夫されている。飾りの配置、和やかな雰囲気作りが行われている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた家具や思い出の品物、位牌等が置かれている。希望者には、ベットにたたみも敷いている。全体的に穏やかな雰囲気であった。		